

漁海況情報

沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話：098-852-4530・4531 F A X：098-852-4533

2022年(令和4年) 12月 第601号

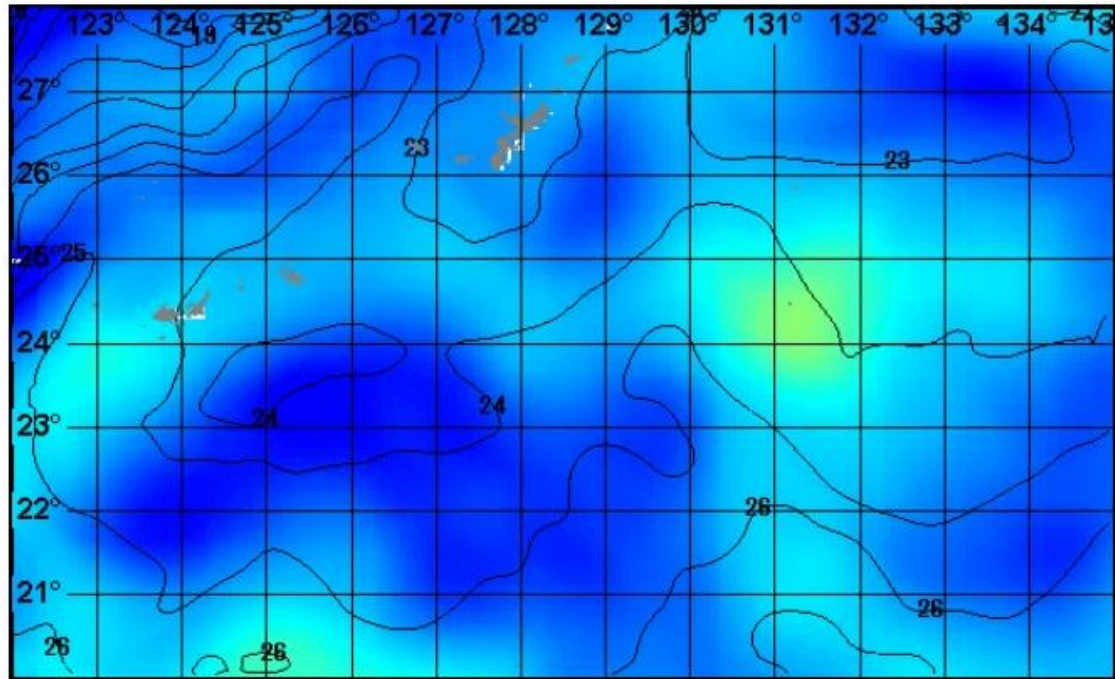
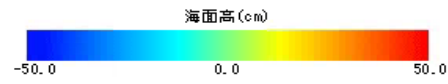


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2022年12月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLでご覧いただけます。
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
スマホ等からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

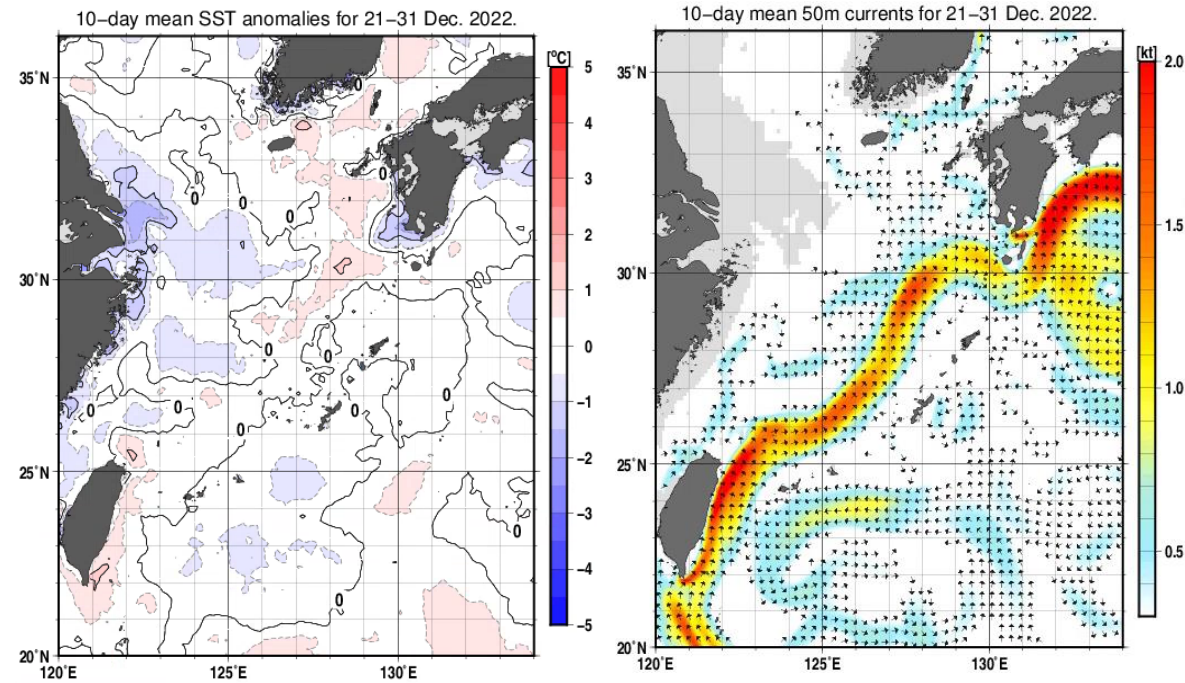


図2. 2022年12月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

漁況

中南部4漁協ではキハダ5.0t、シイラ2.2tが漁獲され漁獲量の約7割を占めた。また県内ではメバチ237.9t、キハダ150.4tが漁獲され県内かつお・まぐろ等漁獲量の約9割を占めた。

表1. 12月のかつお・まぐろ等の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	中南部計	伊良部	県内総漁獲量
シイラ	1.7	0.1	0.2	0.2	2.2	0.8	7.5
クロカジキ	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	16.5
サワラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.1
カツオ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	2.1	3.9
キハダ	3.9	0.4	0.1	0.6	5.0	0.6	150.4
シビ	0.8	0.1	0.0	0.3	1.3	7.1	24.4
メバチ	0.4	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	237.9
計	7.2	0.7	0.6	1.1	9.7	10.6	441.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。



ウメイロモドキ(アカジュグルクン)

糸満ではキハダ3.9t、シイラ1.7tが漁獲された。港川ではキハダ0.4t、シイラとシビが1.0tずつ漁獲された。知念ではシイラとクロカジキが0.2tずつ漁獲された。沖縄市ではキハダ0.6t、シビ0.3tが漁獲された。伊良部ではシビ7.1t、カツオ2.1tが漁獲された(表1)。

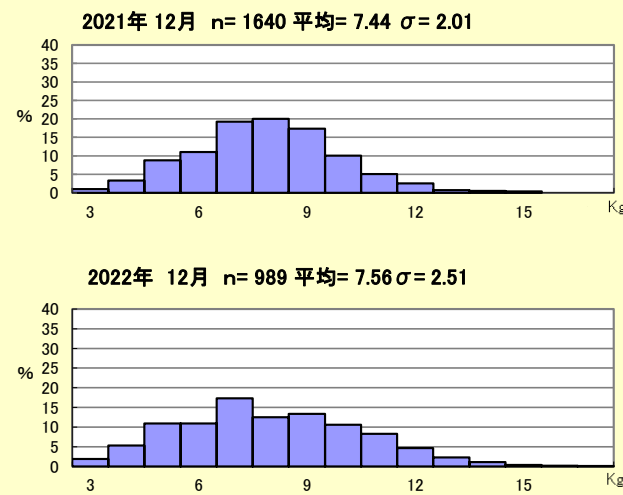


図3. 沖縄本島内1漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布
nはデータ数: 集計したソデイカの匹数

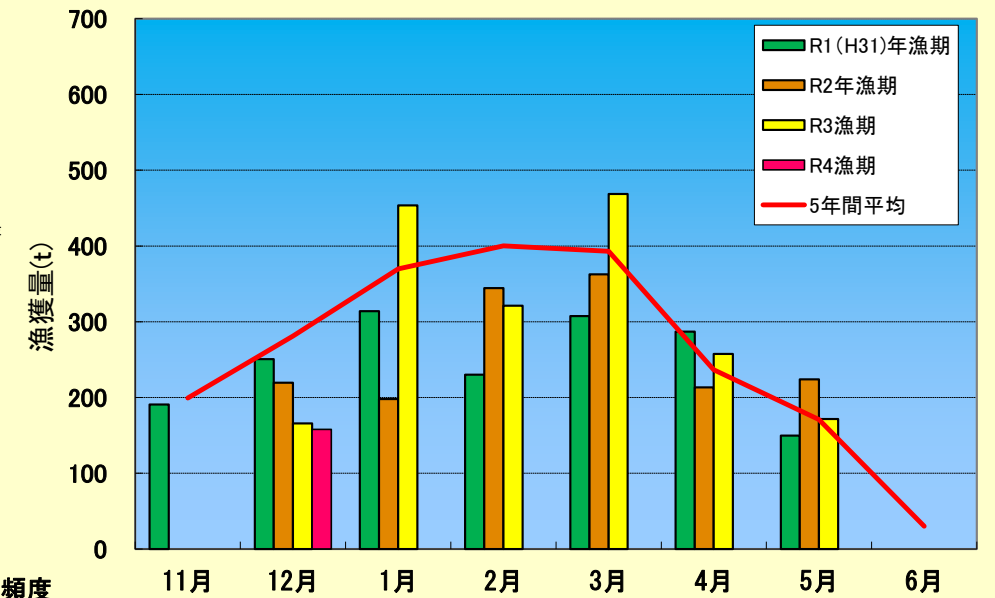


図4. ソデイカ月別漁獲量の推移

図3は重量から作成した頻度分布である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5か年の平均を示す。12月に沖縄本島内1漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は7.56kgで、昨年より0.12kg大きかった(図3)。一方12月のソデイカ漁獲量は158tで、昨年の12月(166t)よりも5%程度少なく、過去5年間の平均漁獲量(281t)よりも44%程度低い水揚げとなった(図4)。

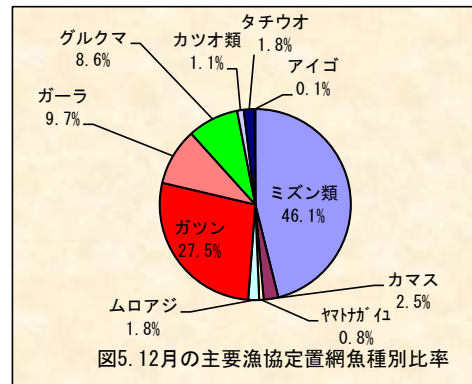


図5. 12月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網: 12月の県内の漁獲状況は4,126.5kgで先月(12,293.1kg)と比べ減少した。主要漁協の漁獲ではカツンとミズンで約7割を占めた(表2、図5)。

表2. 12月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置		合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	与那城		
ミズン類	857.2	0.0	17.1	956.9	30.0	1,861.2	1,861.2
カマス	70.8	0.0	2.2	26.9	0.0	99.9	101.9
ヤマトガイ	14.2	0.0	14.4	1.7	0.0	30.3	30.3
ムロアジ	74.4	0.0	0.0	0.0	0.0	74.4	74.4
カツン	1069.2	0.0	9.6	29.7	0.0	1,108.5	1,108.5
ガーラ	286.5	0.0	84.7	18.6	0.0	389.8	413.7
グルクマ	102.0	0.0	246.1	0.0	0.0	348.1	348.1
カツオ類	42.4	0.0	2.5	0.4	0.0	45.3	45.3
タチウオ	72.5	0.0	1.4	0.0	0.0	73.9	73.9
アイゴ	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	69.2
合計	2,589.2	0.0	378.0	1,038.2	30.0	4,035.4	4,126.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

注記: 統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。